

2015 年 2 月 23 日

**株式会社国際電気通信基礎技術研究所が有する技術シーズを対象に
研究開発成果の事業化を目的とするベンチャーキャピタルファンド
「けいはんな学研都市 ATR ベンチャーNVCC 投資事業有限責任組合」
に対する戦略的 LP 投資を実行**

株式会社産業革新機構（以下「INCJ」）（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：能見公一）は、日本ベンチャーキャピタル株式会社（以下「NVCC」）（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：奥原主一）が新たに組成・運営し、株式会社国際電気通信基礎技術研究所（以下「ATR」）（本社：京都府相楽郡、代表取締役社長：平田康夫）が有する技術シーズを事業化するベンチャー企業などへの投資を行う、けいはんな学研都市 ATR ベンチャーNVCC 投資事業有限責任組合（以下「けいはんな ATR ファンド」）に対して、25 億円を上限とする戦略的 LP 投資を行うことを決定しました。

また、けいはんな ATR ファンドは、他の事業会社などからも LP 出資を受け入れる予定です。

INCJ では従来より、日本におけるベンチャー企業をめぐるエコシステムの確立に向け、研究機関やアカデミア発ベンチャーを含めたベンチャー企業等の事業拡大への投資を積極的に実施すると共に、投資後のハンズオン支援に取り組んでいます。これらと併せて、INCJ と投資哲学が一致する中立的な協業パートナーに対して戦略的 LP 投資を実施しています。

NVCC は東京と大阪に活動拠点を持つ独立系ベンチャーキャピタルとして、スタートアップおよびアーリーステージの企業を中心に投資し、ハンズオン支援を行ってまいりました。これまでに 21 ファンド、ファンド総額 783 億円の運用実績があります。また産学連携の取り組みとして、大阪大学、京都大学、同志社大学などの関西の大学発ベンチャーファンドの運営を行い、投資先企業に対する大企業とのパートナーリングを通じて多数の上場企業を輩出するなど、アカデミアシーズの事業化に関して豊富な経験を有しています。

ATR は関西文化学術研究都市（以下「けいはんな学研都市」）の中核研究機関として、国内外の産官学連携を基に、情報通信関連分野における先駆的、独創的研究を進めてきました。広く社会に普及している音声翻訳・認識技術や無線技術のほか、少子高齢化に伴う課題解決への貢献が期待される脳情報科学やライフ・サポートロボット技術について、いち早く研究に着手し成果を上げてきました。また上場企業との合併企業設立など、研究成果の事業化にも積極的に取り組んでいます。

NVCC は今後、これまで培ってきた経験と企業ネットワークを最大限に活用して経営全般にわたりハンズオンで支援します。ATR は研究シーズの提供、技術サポートおよび関連分野の最新の情報提供などを通じて、迅速かつ円滑な研究成果の事業化に寄与します。

INCJ は、けいはんな ATR ファンドへの戦略的 LP 投資を通じ、ATR が有する BMI¹の研究開発や人工知能などの研究を中心とした脳情報科学や、ライフ・サポートロボット、無線通信などの分野の技術シーズを対象とする、成果の社会実装のための事業化を支援します。また、既存のベンチャーキャピタルでは必ずしも十分に資金供給を果たせていなかった関西発のベンチャー企業などに対して成長資金を供給し、けいはんな学研都市を中心とした関西地区の活性化に貢献します。さらには、日本の成長を支える技術の源泉である研究機関やアカデミア発シーズのインキュベーションやイノベーションの基盤を、再現性と循環性のある形で厚く豊かにすることを目指します。

※1 ブレイン・マシン・インタフェース(BMI)

ロボットなどの機器を制御するために、従来のインタフェースでは利用者はスイッチなどを手足などで直接操作することで意図を伝えるのに対し、BMI では利用者の脳活動に基づき推定された意図を用いる。手足などによる直接操作を不要としていることが特徴である。外科手術で脳内に電極を埋め込む侵襲型の BMI(欧米で研究が盛ん)と、頭皮にセンサを接触させるだけの非侵襲型の BMI がある。ブレイン・コンピュータ・インタフェース(brain-computer interface)とも呼ばれる。

日本ベンチャーキャピタル株式会社 (NVCC) について

事業内容	ベンチャーキャピタルファンド運営業務
本社所在地	東京都千代田区丸の内 2 丁目 4 番 1 号 丸の内ビルディング 34 階
資本金	20 億 5,000 万円
代表取締役社長	奥原 主一
URL	http://www.nvcc.co.jp

株式会社国際電気通信基礎技術研究所 (ATR) について

事業内容	情報通信関連分野における先駆的・独創的研究推進
本社所在地	京都府相楽郡精華町光台 2 丁目 2 番 2 号
資本金	1 億円
代表取締役社長	平田 康夫
URL	http://www.atr.jp

株式会社産業革新機構（INCJ）について

INCJ は、2009 年 7 月にオープンイノベーションの推進を通じた次世代産業の育成を目指して、法律に基づき設立された会社です。総額約 2 兆円の投資能力を有しており、革新性を有する事業に対し出資等を行うことで産業革新を支援することをミッションとしています。

INCJ は、投資・技術・経営等で多様な経験をもつ民間人材によって運営されており、法令に基づき、当社内に設置している産業革新委員会にて、政府の定める支援基準に従って投資の可否の判断を行い、日本の産業革新に資する投資を実施いたします。

（本発表資料のお問い合わせ先）

（株）産業革新機構 企画調整室 大森、市原、畑
東京都千代田区丸の内 1－4－1
丸の内永楽ビルディング 2 1 階
電 話：03－5218－7200（大代表）